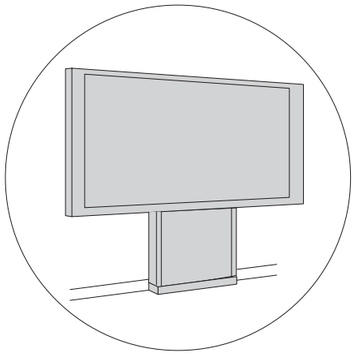
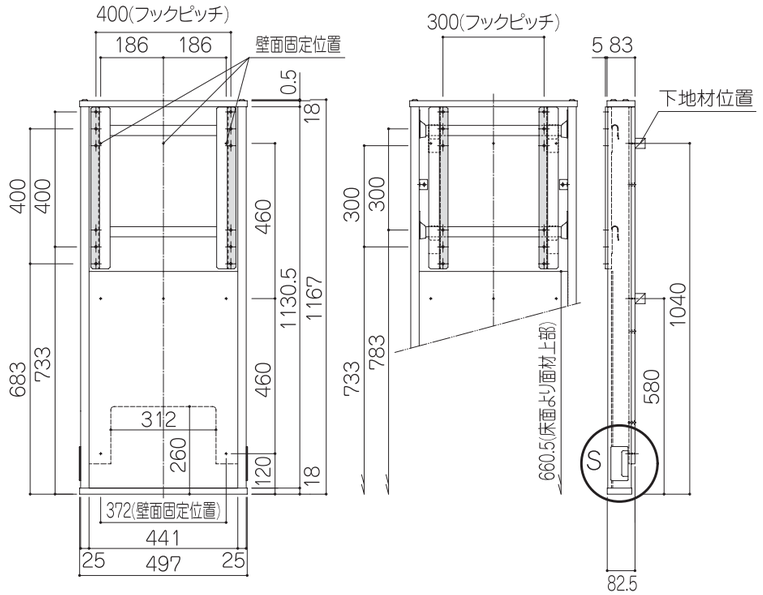
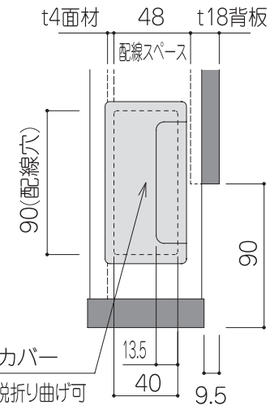
製品寸法図

■棚無しタイプ

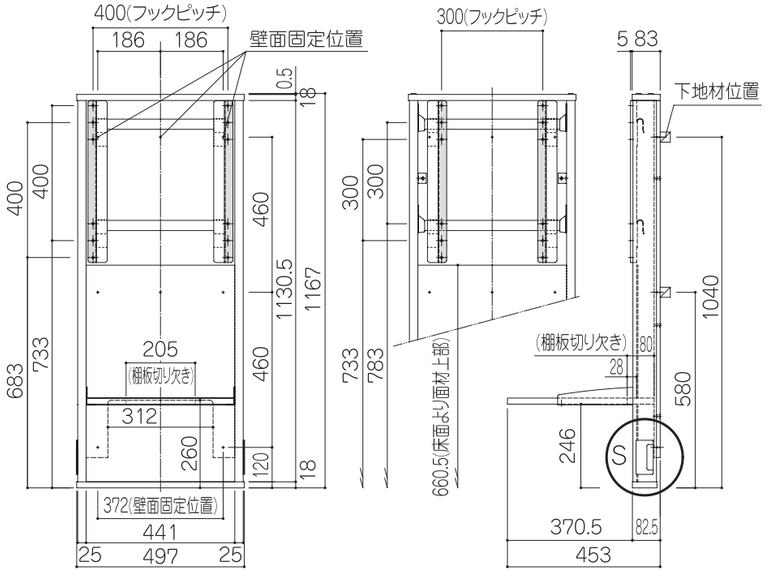




S部拡大図



■棚付きタイプ



壁掛けテレビパネル

取扱説明書（お客様保存用）

薄型テレビ対応機種
37～52インチ（30kg未満）
取り付けピッチ（300㍉、400㍉）

TOYOPLYWOOD

注意事項

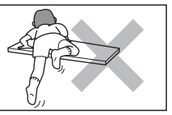
1. 正しく安全に組み立てていただくために、この「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
2. この「取扱説明書」に書かれている以外の方法では組み立てないでください。
3. この「取扱説明書」を、もし紛失された場合には、弊社営業部又はお求めになった販売店からお取り寄せください。

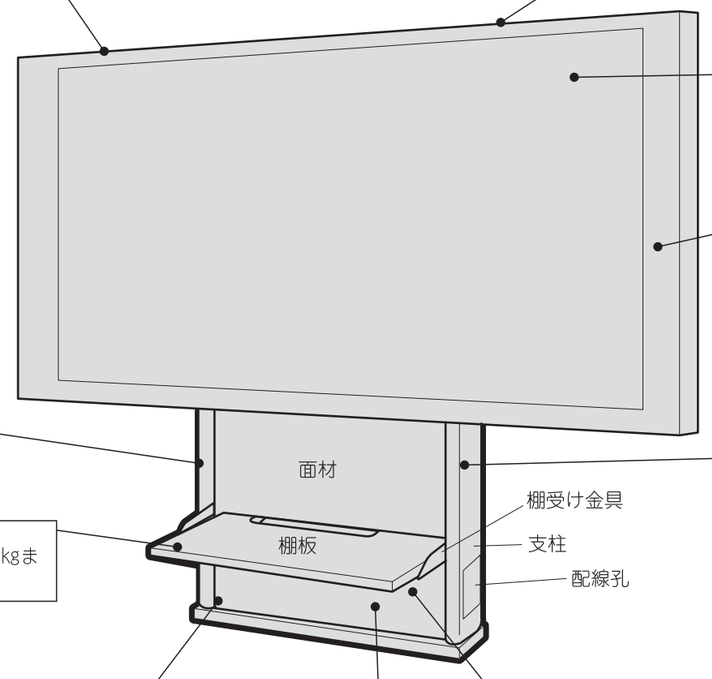
この「取扱説明書」には、『危険』『警告』『注意』といった、安全注意事項が随所に記載されています。これらの記載内容は、次の意味を含んでいます。

⚠危険	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	取扱を誤った場合に、使用者が重傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。

⚠警告
重量物を置かないでください。
落下してケガをするおそれがあります

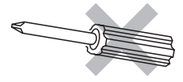
⚠危険
テレビやユニットに乗ったり、ぶらさがらないでください。
落下してケガをするおそれがあります。





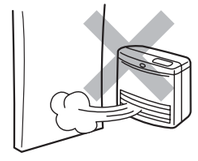
⚠警告
薄型テレビは30kgまでのものを使用してください。
ユニットが外れて、ケガをするおそれがあります。

⚠危険
分解･改造はしないでください。
ケガや事故の原因となります。



⚠注意
クーラーなどの冷風が支柱などに直接あたると結露が発生し、シミ･カビの原因となりますのでご注意ください。

⚠注意
暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。
変形、変色が発生して故障の原因となります。

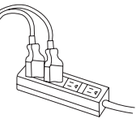


⚠注意
棚板の耐荷重は10kgまでです。

⚠危険
本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。
表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。

⚠注意
面材に物を取り付けたり、足で押すなどしないでください。
ユニットが変形、破損して故障の原因となります。

⚠危険
ユニット内でテーブルタップを接続しないでください。
ほこりによるショート、火災の原因となります。



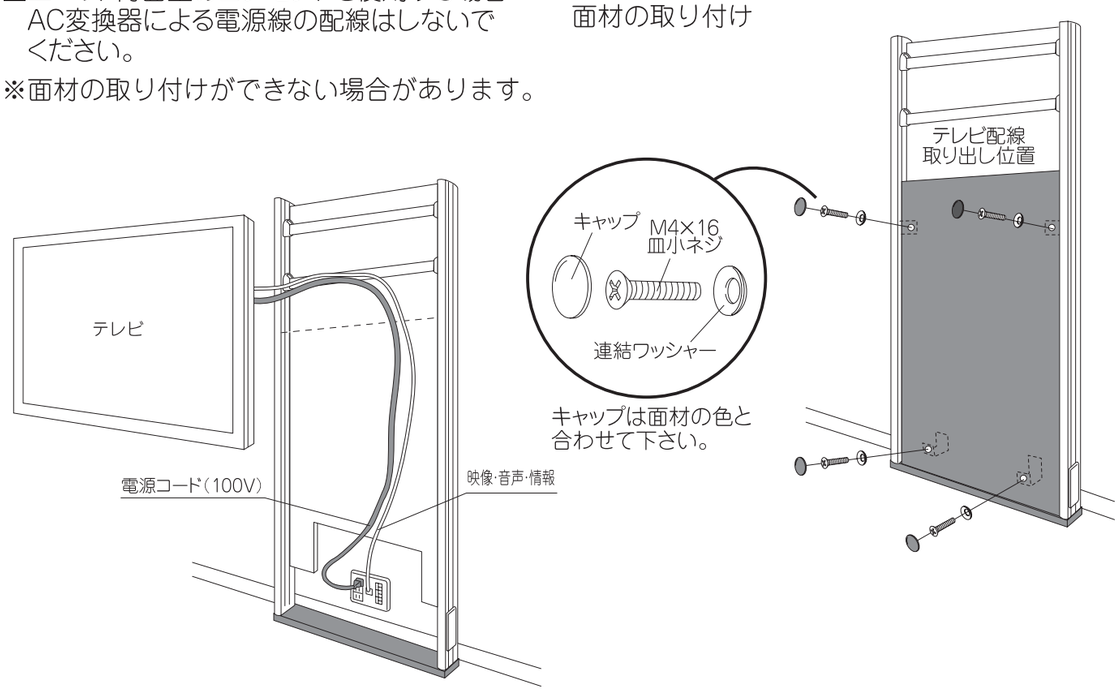
この「取扱説明書」は、設置位置の移動、テレビの買い換えなどの都合により、ユニットの設置確認が必要となることを想定し、「施工説明」の内容も記載されています。

棚無しタイプの配線

■ユニット背面壁のコンセントを使用する場合
AC変換器による電源線の配線はしないで
ください。

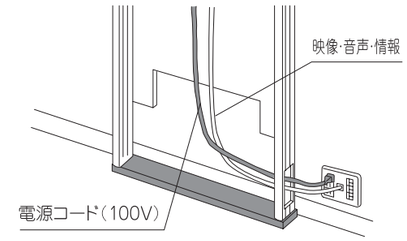
※面材の取り付けができない場合があります。

面材の取り付け

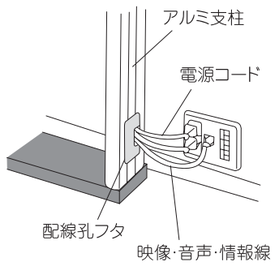


キャップは面材の色と
合わせて下さい。

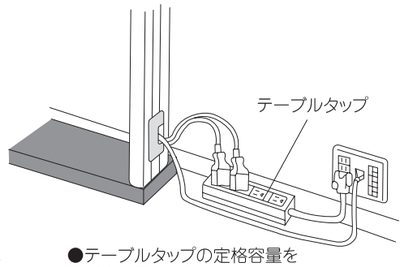
既設のコンセントを使用する場合



〈ユニット外での配線をする場合〉



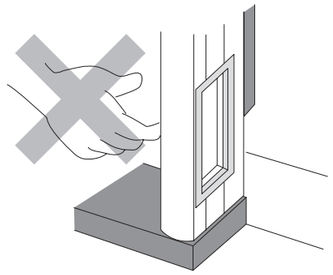
〈テーブルタップを使用する場合〉



●テーブルタップの定格容量を
超えた配線をしないでください。
（たこ足配線などをしないでください。）

⚠危険

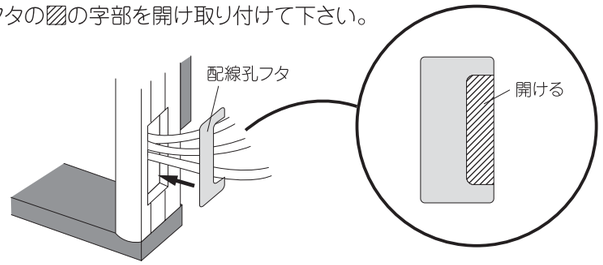
テーブルタップをユニット内に配置しないでください。
火災の原因となります。



⚠危険

配線孔にコードを通す時に**支柱内側角**（配線穴）で手を切らないように注意してください。

配線孔フタの配線コードを通す場合は
フタの▨の字部を開け取り付けて下さい。



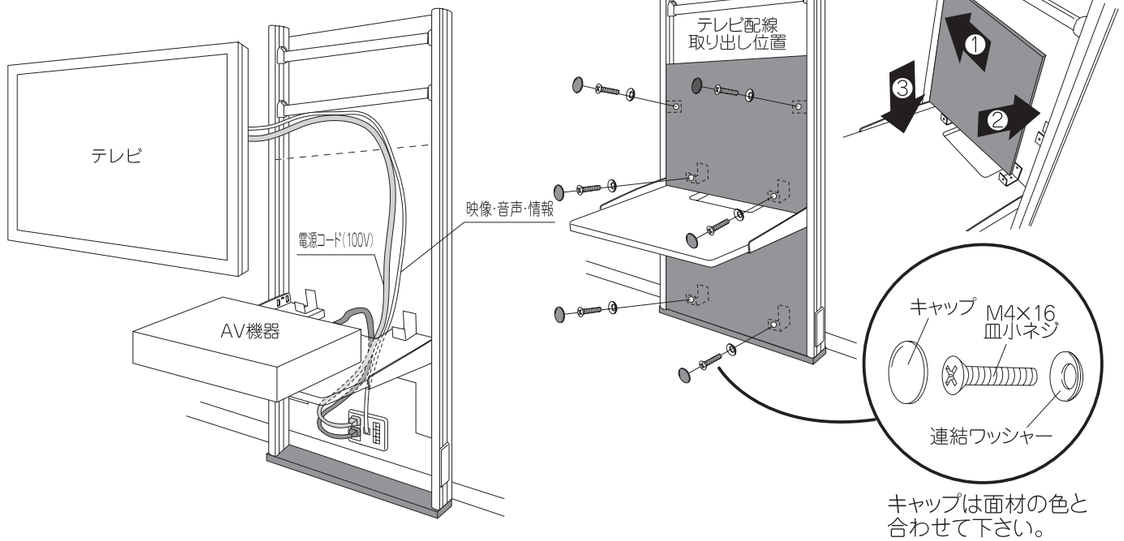
棚付きタイプの配線

■ユニット背面壁のコンセントを使用する場合
AC変換器による電源線の配線はしないで
ください。

※面材の取り付けができない場合があります。

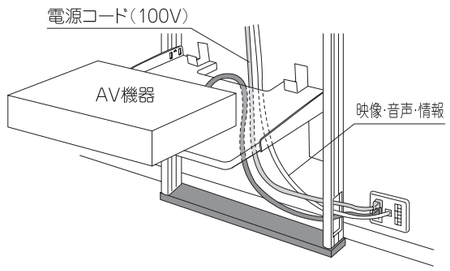
面材の取り付け

手順
①支柱の片側の溝に差し込む。
②反対側を差し込む。
③金具に当たらないように
下げる。

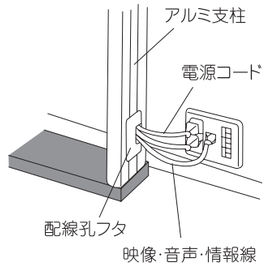


キャップは面材の色と
合わせて下さい。

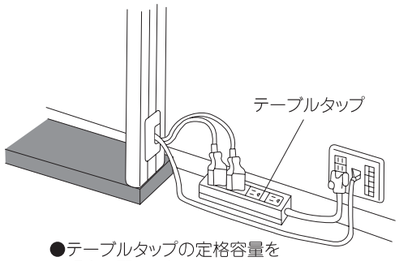
既設のコンセントを使用する場合



〈ユニット外での配線をする場合〉



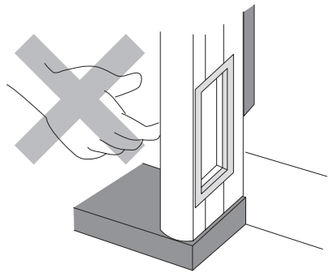
〈テーブルタップを使用する場合〉



●テーブルタップの定格容量を
超えた配線をしないでください。
（たこ足配線などをしないでください。）

⚠危険

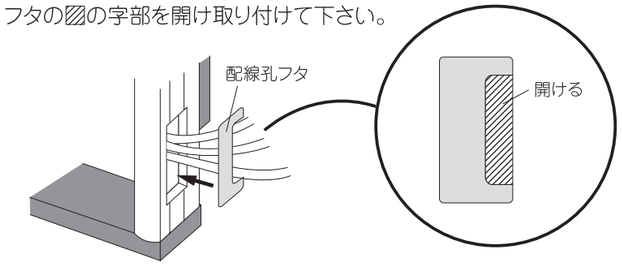
テーブルタップをユニット内に配置しないでください。
火災の原因となります。



⚠危険

配線口にコードを通す時に支柱の内側の角で手を切らないようにご注意してください。

配線孔フタの配線コードを通す場合は
フタの▨の字部を開け取り付けて下さい。



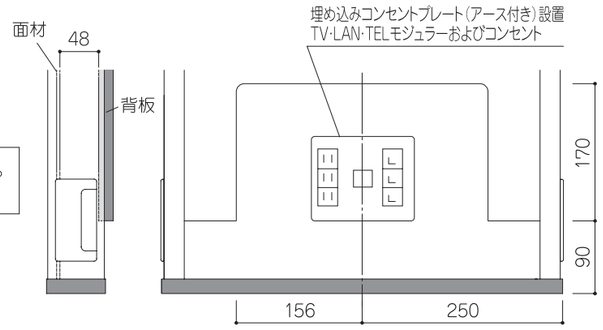
施 工 前 の 準 備

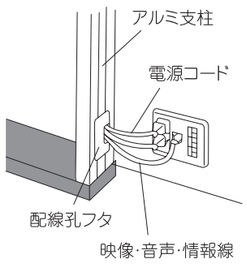
●配線の方法

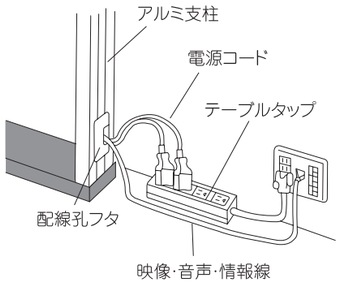
ユニット背面壁にコンセントがある場合は背板の切り欠き部に配置してください。

⚠警告 電気工事は必ず有資格者が行ってください。
火災や漏電の原因となります。

AC変換器はユニット内部で配線しないでください。面材に当たり取り付けができないおそれがあります。







既設のコンセントを使用する場合はユニット設置後、支柱側面の配線用開口より電源線・情報線を取り出し接続してください。

⚠危険 テーブルタップをユニット内に配置しないでください。
火災の原因となります。

●設置位置の確認

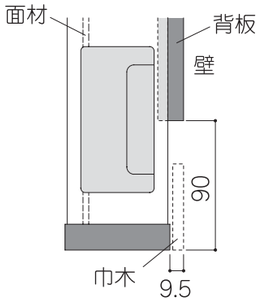
設置位置の、ユニット背板中央部⬚に下地があることを確認してください。

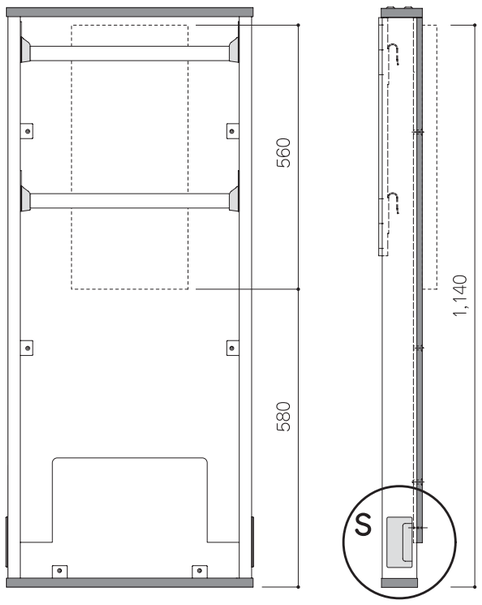
⚠警告 背板上部の2ヶ所の下地材⬚を確認してください。
ユニットが外れ、ケガをするおそれがあります。

⚠警告 プラスターボード用アンカーのみでの壁面への固定は避けてください。
ユニットが外れ、ケガをするおそれがあります。

設置位置の巾木の大きさを確認してください。
有効寸法はt9.5㎜×H90㎜まで設置可能です。

S部拡大図



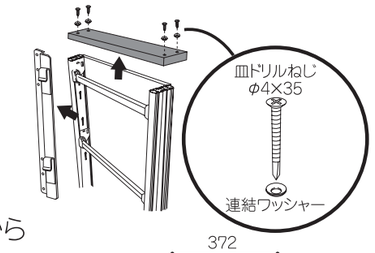


施 工 手 順

1.本体天板を外し、テレビ取り付け用フックを外してください。

⚠注意 パイプを持って動かさないでください。
ユニットが外れ、ケガをするおそれがあります。

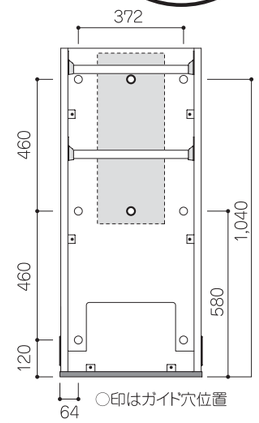
ドリルねじと連結ワッシャーはテレビ設置後に使用します。



2.本体を仮置きし、背板中心部のガイド穴（φ3貫通穴2ヶ所）からビスで仮固定し下地の有無を確認してください。

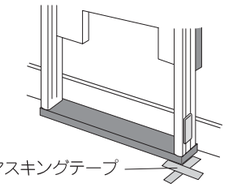
⚠警告 下穴に下地が無い場合、背板上部の中央部付近の下地に2ヶ所以上マークしてください。
本体が壁から外れるおそれがあります。

あらかじめ、下地の確認ができる場合は両サイドのガイド穴（6ヶ所）もビスで仮固定し、マークしてください。



3.マスキングテープや養生テープなどで設置位置をマークしてください。

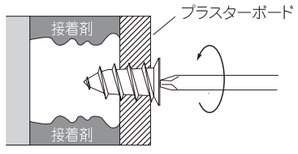
⚠注意 作業中にユニットが倒れないよう壁面へ仮固定してください。



4.下地の無い場所の固定は、同梱部品のアンカーを取り付けてください。

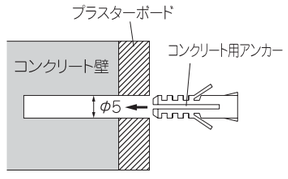
プラスターボード用アンカー

ドライバーNO.2で頭部をねじ込んでください。コードレスドライバーは中トルク以下で、インパクトドライバーは締め付け程度に十分注意してください。また、胴縁、接着剤等の障害物は避けてください。



コンクリート用アンカー

コンクリートへφ5の穴を開け、アンカーを打ち込んでください。

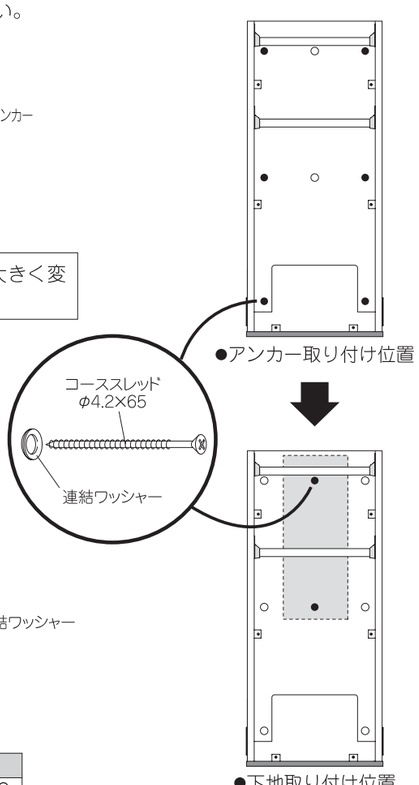


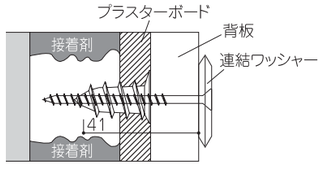
⚠危険 特にプラスターボード用アンカーは、タイプにより性能が大きく変わります。（数が不足した場合、弊社までお求めください）

5.ユニットをマーク位置に設置し壁面へ固定してください。

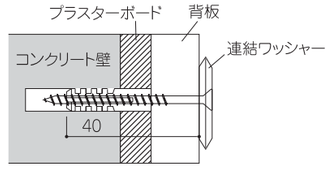
●はじめにアンカーを取り付けた箇所（6ヶ所）へ固定してください。
●次に下地のある場所(2ヶ所以上）へ固定してください。

⚠警告 ユニット背板の中央上部⬚の固定は、下地に2ヶ所以上確実に固定してください。
（床から580㎜以上、1,140㎜以内）





プラスターボード用アンカーの取り付けは、コードレスドライバーは弱トルク以下で、インパクトドライバーは締め付け程度に十分注意してください。

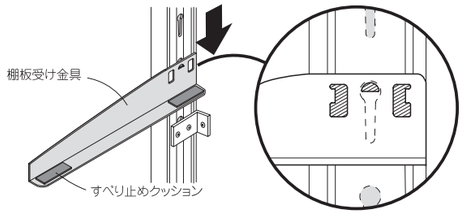


適合ねじ	
プラスター用	φ3.8～4.2
コンクリート用	φ3～4.2

ねじの長さはアンカーよりとび出す程度

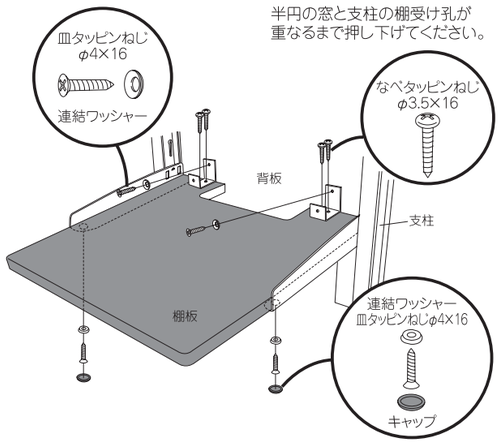
6.棚板の取り付け（棚板タイプのみ）

①棚受け金具（左右各1）を左右の支柱の穴に差し込み、穴に入っている事を確認し、押し下げます。



半円の窓と支柱の棚受け孔が重なるまで押し下げてください。

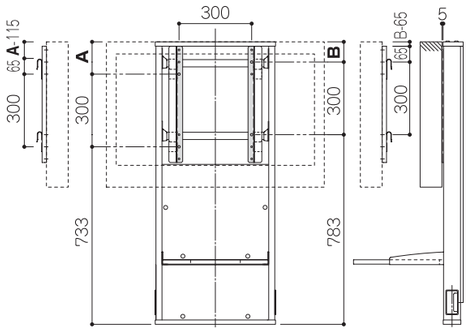
②棚板を受け金具に取り付け、背板へ固定します。
棚板を上から押さえ、棚受け金具のすべり止めクッションをつぶしながら、背板のガイド穴に固定してください。



③棚受け金具下面より、棚板を固定（2ケ所）します。

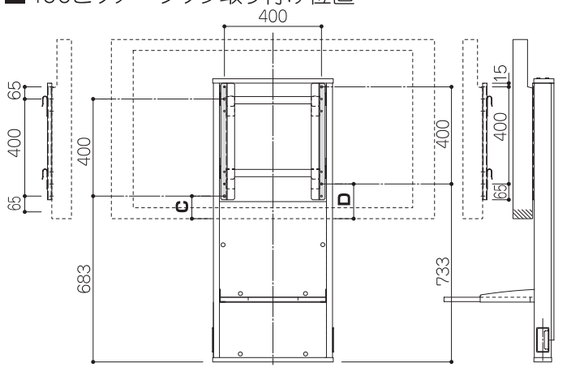
7.フックとテレビ位置関係を確認してください。

■300ピッチ　フック取り付け位置



※**A**寸法が**133**㎜以下、**B**寸法が**83**㎜以下の場合、テレビ裏面上の形状によりユニット内部が見える場合があります。

■400ピッチ　フック取り付け位置

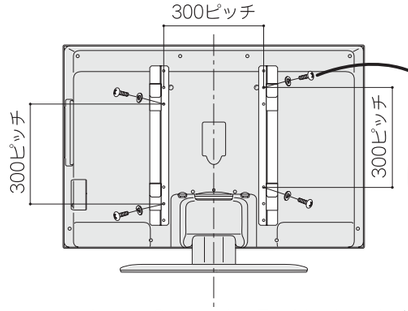


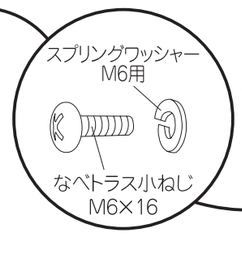
※**C**寸法が**200**㎜以上、**D**寸法が**250**㎜以上の場合、面材の交換が難しくなります。の場合、面材の交換が難しくなります。

8.テレビの設置

テレビ取り付け用フックをテレビ裏面にあわせ、なべトラス小ねじM6×16とスプリングワッシャーM6用（ゆるみ止め）で固定してください。

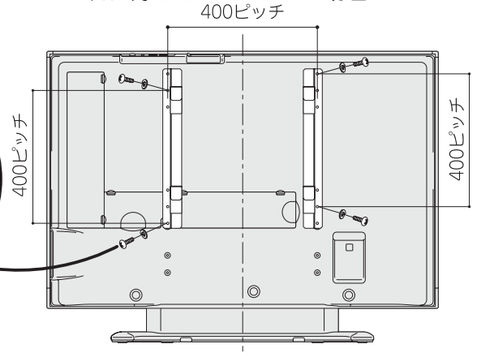
取り付けピッチ300の場合





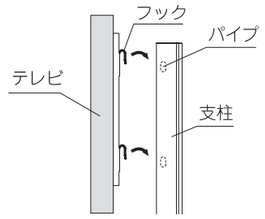
フックを外側へ向けて取り付けてください。

取り付けピッチ400の場合



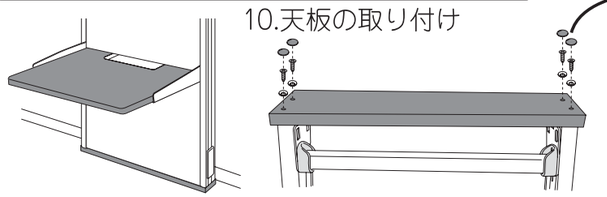
フックを内側へ向けて取り付けてください。

9.フックをパイプへ引っ掛けます。



⚠注意　棚付タイプの場合、テレビを棚に載せたり、よりかかったりしないで下さい。
棚が破損するおそれがあります。

10.天板の取り付け



壁掛けテレビパネルは薄型テレビの設置を目的とした商品です

●薄型テレビ対応機種　37～52インチ（30㎏未満）　取り付けピッチ（300㎜、400㎜）

壁掛けテレビパネルを取り付ける前に必ず確認してください

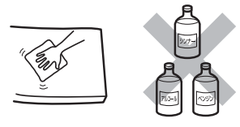
※不明な場合、テレビの購入先やテレビメーカーに問合せし施工前に必ず確認してください。
●テレビとフックの取り付けピッチ　●設置位置（配線、巾木、関連機器）　●壁面下地の位置

安全に関するご注意

●「施工説明書」に従って正しい施工を実施してください。
●工事は、施工業者の方にご依頼のうえ確実に行ってください。
●分解・改造はしないでください。ケガや事故の原因となります。
●ユニット内でテーブルタップの接続をしないでください。ほこりによるショートや火災のおそれがあります。
●パイプにぶら下がったり、棚に乗ったりしないでください。落下・破損のおそれがあります。
●棚板の耐荷重は10㎏。
●テレビによりかかったり、ぶらさがらないでください。テレビが落下してケガをするおそれがあります。
●暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。
変形、変色が発生して故障の原因となります。
●クーラーなどの冷風が支柱などに直接あたると結露が発生し、シミ・カビの原因となりますのでご注意ください。
●本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。ショート、漏電、変色、変形の原因となります。
●面材に物を取り付けたり、足で押すなどしないでください。
ユニットが変形、破損して故障の原因となります。

お手入れのしかた

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後、乾いた布で拭きとってください。
※シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品、またはワックスなどは使用しないでください。
変色、変質するおそれがあります。
※アルミ支柱や棚受け金具は、たわし（ナイロン）・クレンザーを使用すると傷の原因になります。



■商品仕様

部品	仕様	部品	仕様
支柱・ハンガーパイプ	アルミ押出品	面材	化粧　MDF　F☆☆☆☆
フック・L金具	板金プレス成型品　クローメートメッキ（三価クロム）	棚板（棚付タイプ）	化粧　木材繊維板　F☆☆☆☆
パイプ受け	板金成型品（焼付け塗装）	棚受け金具（棚付タイプ）	板金成型品（焼付け塗装）　F☆☆☆☆
背板	木材繊維板（2方木口化粧）	配線孔	ABS樹脂
天・地板	化粧　木材繊維板　F☆☆☆☆		

東洋プライウッド株式会社

本　　社：名古屋市中区錦3丁目10-33　錦SISビル 3F　〒460-8428
住機建材営業本部　TEL〈052〉205-8451　FAX〈052〉205-8450
お客様相談センター　TEL〈052〉205-8405　FAX〈052〉205-8450

ホームページ
http://www.toyoplywood.co.jp

東北営業部		東京営業部		中部営業部		大阪営業部		直需特販	
管理課	〈022〉288-2511	管理課	〈03〉3523-4161	管理課	〈052〉205-8471	特販課	〈06〉6120-3113	東京直需第一課	〈03〉3523-4196
営業課	〈022〉288-2511	営業課	〈03〉3523-4181	営業第一課	〈052〉205-8472	営業課	〈06〉6120-3113	東京直需第二課	〈03〉3523-4196
盛岡営業所	〈019〉635-7211	埼玉営業所	〈048〉643-6631	営業第二課	〈052〉205-8473	福岡営業所	〈092〉611-3443	名古屋直需営業課	〈052〉205-8441
郡山営業所	〈024〉934-0911	千葉営業所	〈043〉297-8871	特販課	〈052〉205-8474			名古屋営業推進課	〈052〉205-8452
札幌営業所	〈011〉865-6121	神奈川営業所	〈046〉222-9011	三重営業所	〈059〉223-2471			直需開発部	〈03〉3348-3943
		新潟営業所	〈025〉285-8471	岐阜営業所	〈058〉276-2271				
		営業開発課	〈03〉3523-4181	浜松営業所	〈053〉464-5223				
				金沢営業所	〈076〉268-9025				

壁掛けテレビパネルは薄型テレビの設置を目的とした商品です

●薄型テレビ対応機種　37～52インチ（30kg未満）　取り付けピッチ（300㎜、400㎜）

壁掛けテレビパネルを取り付ける前に必ず確認してください

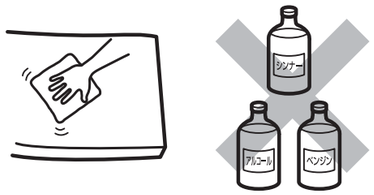
●テレビとフックの取り付けピッチ　●設置位置（配線、巾木、関連機器）　●壁面下地の位置
※不明な場合、テレビの購入先やテレビメーカーに問合せし施工前に必ず確認してください。

安全に関するご注意

●「施工説明書」に従って正しい施工を実施してください。
●工事は、施工業者の方にご依頼のうえ確実に行ってください。
●分解・改造はしないでください。ケガや事故の原因となります。
●ユニット内でテーブルタップの接続をしないでください。ほこりによるショートや火災のおそれがあります。
●パイプにぶら下がったり、棚に乗ったりしないでください。落下・破損のおそれがあります。
●棚板の耐荷重は10kg。
●テレビによりかかったり、ぶらさがらないでください。テレビが落下してケガをするおそれがあります。
●暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。
　変形、変色が発生して故障の原因となります。
●クーラーなどの冷風が支柱などに直接あたると結露が発生し、シミ・カビの原因となりますのでご注意ください。
●本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。ショート、漏電、変色、変形の原因となります。
●面材に物を取り付けたり、足で押すなどしないでください。
　ユニットが変形、破損して故障の原因となります。

お手入れのしかた

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後、乾いた布で拭きとってください。
※シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品、またはワックスなどは使用しないでください。変色、変質するおそれがあります。
※アルミ支柱や棚受け金具は、たわし（ナイロン）・クレンザーを使用すると傷の原因になります。



■商品仕様

部品	仕様
支柱・ハンガーパイプ	アルミ押出品
フック・L金具	板金プレス成型品　クローメートメッキ（三価クロム）
パイプ受け	板金成型品（焼付け塗装）
背板	木材繊維板（2方木口化粧）
天・地板	化粧　木材繊維板　F☆☆☆☆
面材	化粧　MDF　F☆☆☆☆
棚板（棚付タイプ）	化粧　木材繊維板　F☆☆☆☆
棚受け金具（棚付タイプ）	板金成型品（焼付け塗装）　F☆☆☆☆
配線孔	ABS樹脂

東洋プライウッド株式会社

本　　社：名古屋市中区錦3丁目10-33　錦SISビル 3F　〒460-8428
住機建材営業本部　TEL〈052〉205-8451　FAX〈052〉205-8450
お客様相談センター　TEL〈052〉205-8405　FAX〈052〉205-8450

ホームページ
http://www.toyoplywood.co.jp

東北営業部		東京営業部		中部営業部		大阪営業部		直需特販	
管理課	〈022〉288-2511	管理課	〈03〉3523-4161	管理課	〈052〉205-8471	特販課	〈06〉6120-3113	東京直需第一課	〈03〉3523-4196
営業課	〈022〉288-2511	営業課	〈03〉3523-4181	営業第一課	〈052〉205-8472	営業課	〈06〉6120-3113	東京直需第二課	〈03〉3523-4196
盛岡営業所	〈019〉635-7211	埼玉営業所	〈048〉643-6631	営業第二課	〈052〉205-8473	福岡営業所	〈092〉611-3443	名古屋直需営業課	〈052〉205-8441
郡山営業所	〈024〉934-0911	千葉営業所	〈043〉297-8871	特販課	〈052〉205-8474			名古屋営業推進課	〈052〉205-8452
札幌営業所	〈011〉865-6121	神奈川営業所	〈046〉222-9011	三重営業所	〈059〉223-2471			直需開発部	〈03〉3348-3943
		新潟営業所	〈025〉285-8471	岐阜営業所	〈058〉276-2271				
		営業開発課	〈03〉3523-4181	浜松営業所	〈053〉464-5223				
				金沢営業所	〈076〉268-9025				

壁掛けテレビパネル
施工説明書

薄型テレビ対応機種
37～52インチ（30kg未満）
取り付けピッチ（300㎜、400㎜）

TOYOPLYWOOD

ー注意事項ー

1. 正しく安全に組み立てていただくために、この「施工説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
2. この「施工説明書」に書かれている以外の方法では組み立てないでください。
3. この「施工説明書」を、もし紛失された場合には、弊社営業部又はお求めになった販売店からお取り寄せください。

この「施工説明書」には、『危険』『警告』『注意』といった、安全注意事項が随所に記載されています。これらの記載内容は、次の意味を含んでいます。

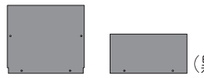
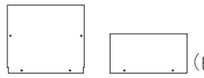
⚠危険	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	取扱を誤った場合に、使用者が重傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。

組み立て前に

テレビとフックの取り付けピッチ、設置位置の確認を行ってください。不明な場合、テレビの購入先やテレビメーカーに問合せし施工前に確認してください。壁面下地の確認を必ず行ってください。部品の種類や数を確認してください。
※万一部品が不足している場合は、裏表紙に記載のお近くの営業所までご請求ください。

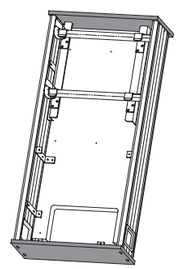
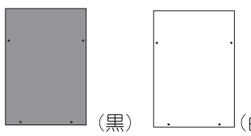
品番:CMFR-TN

壁掛けテレビパネル 棚板セット 部材・部品表

品名	形状	数量	品名	形状	サイズ	数量
棚板黒 W435×D435		1	固定金具B		45×48	2
面材 W446×H394 W446×H220	 (黒)	棚上1 棚下1	固定金具B取付ねじ		φ3.5×16 ⊕なべタッピンねじ	4
	 (白)	棚上1 棚下1	棚板固定ねじ		φ4×16 ⊕皿タッピンねじ	4
			面材固定ねじ		M4×16 ⊕皿小ねじ	2
			連結ワッシャー		φ4用	6
棚受け金具		左右各1	キャップ	(黒)		4
			キャップ面材用	(白)		2

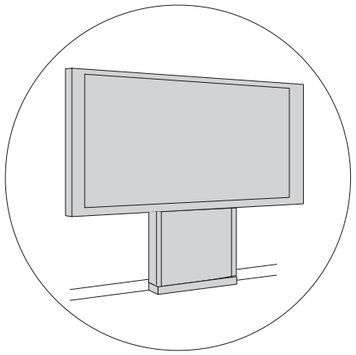
品番:CMFR-TH

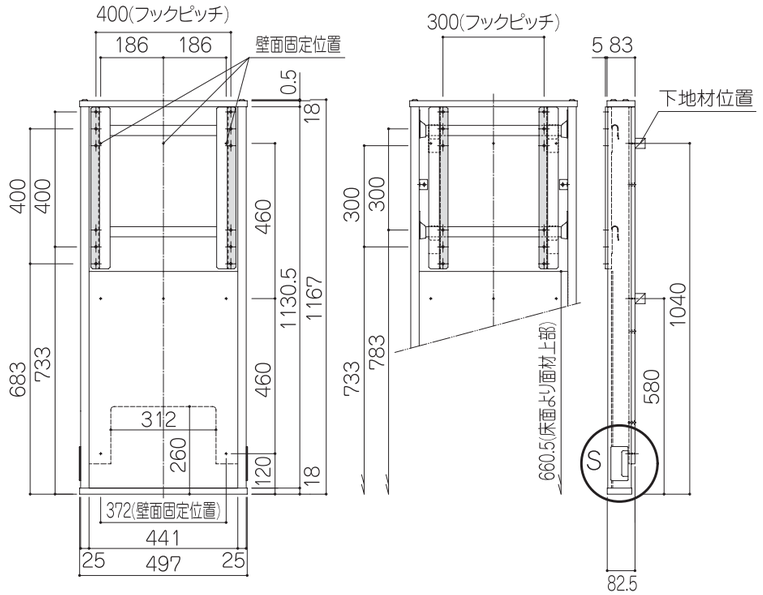
壁掛けテレビパネル 部材・部品表

品名	形状	数量	品名	形状	サイズ	数量
本体		1	テレビ取付ねじ		M6×16 ⊕なべトラス小ねじ	4
			スプリングワッシャー		M6用	4
			面材固定ねじ		M4×16 ⊕皿小ねじ	4
			連結ワッシャー		φ4用	12
			キャップ	(黒)		8
			キャップ面材用	(白)		4
面材 W446×H642	 (黒) (白)	黒1 白1	背板壁固定ねじ		φ4.2×65 ⊕コーススレッド	8
			プラスター用アンカー		PB9.5～15用	10
配線孔フタ		2	コンクリート用アンカー		L=25	10

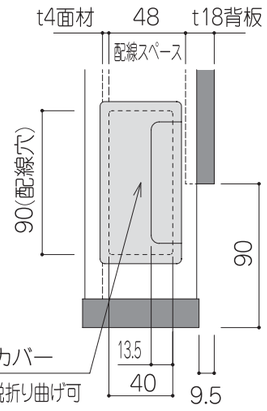
製品寸法図

■棚無しタイプ

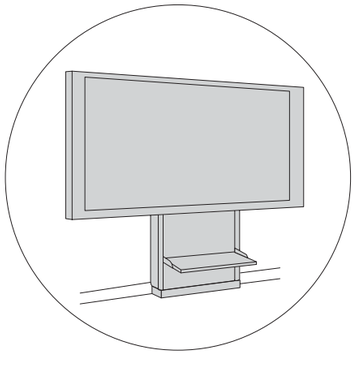


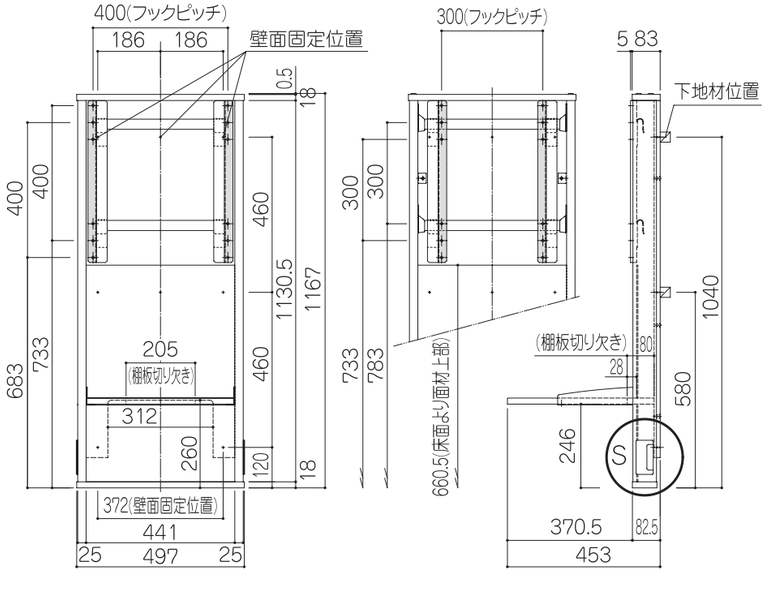


S部拡大図



■棚付きタイプ





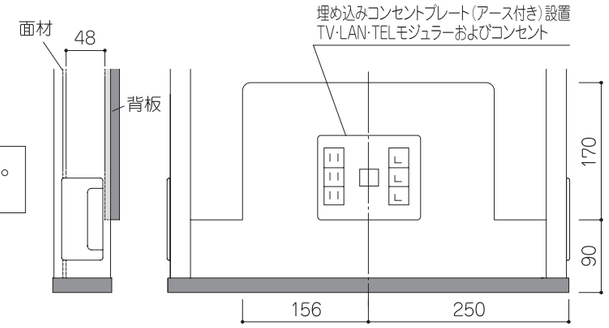
施工前の準備

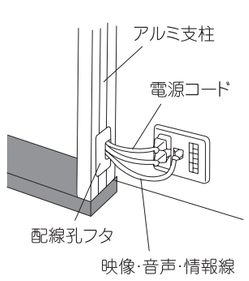
●配線の方法

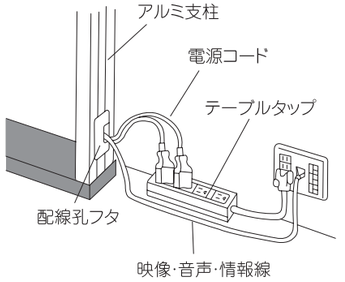
ユニット背面壁にコンセントがある場合は背板の切り欠き部に配置してください。

⚠警告 電気工事は必ず有資格者が行ってください。
火災や漏電の原因となります。

AC変換器はユニット内部で配線しないでください。面材に当たり取り付けができないおそれがあります。







既設のコンセントを使用する場合はユニット設置後、支柱側面の配線用開口より電源線・情報線を取り出し接続してください。

⚠危険 テーブルタップをユニット内に配置しないでください。
火災の原因となります。

●設置位置の確認

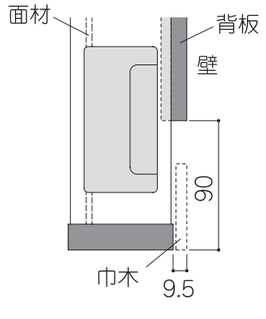
設置位置の、ユニット背板中央部⬚に下地があることを確認してください。

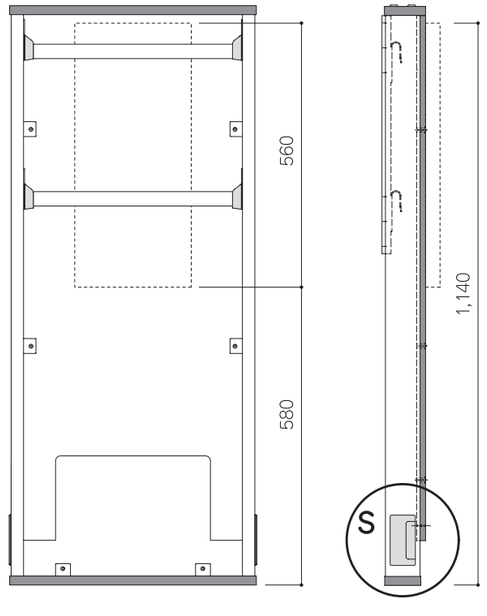
⚠警告 背板上部の2ケ所の下地材⬚を確認してください。
ユニットが外れ、ケガをするおそれがあります。

⚠警告 プラスターボード用アンカーのみでの壁面への固定は避けてください。
ユニットが外れ、ケガをするおそれがあります。

設置位置の巾木の大きさを確認してください。
有効寸法はt9.5㎜×H90㎜まで設置可能です。

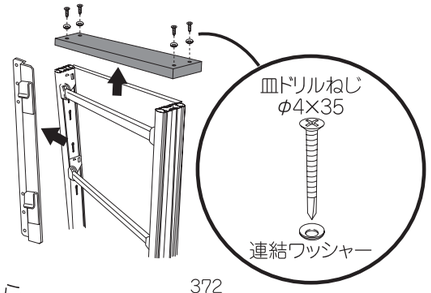
S部拡大図





施 工 手 順

1.本体天板を外し、テレビ取り付け用フックを外してください。



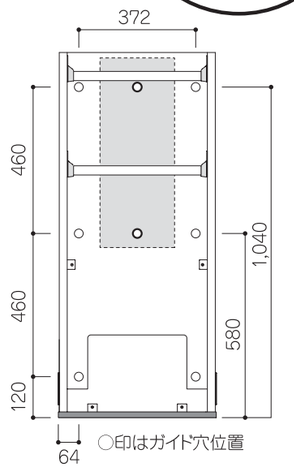
⚠注意 パイプを持って動かさないでください。
ユニットが外れ、ケガをするおそれがあります。

ドリルねじと連結ワッシャーはテレビ設置後に使用します。

2.本体を仮置きし、背板中心部のガイド穴（φ3貫通穴2ヶ所）からビスで仮固定し下地の有無を確認してください。

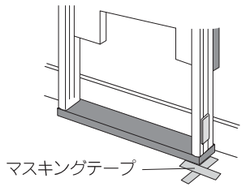
⚠警告 下穴に下地が無い場合、背板上部の中央部付近の下地に2ヶ所以上マークしてください。
本体が壁から外れるおそれがあります。

あらかじめ、下地の確認ができる場合は両サイドのガイド穴（6ヶ所）もビスで仮固定し、マークしてください。



3.マスキングテープや養生テープなどで設置位置をマークしてください。

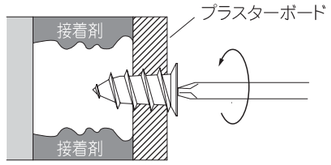
⚠注意 作業中にユニットが倒れないよう壁面へ仮固定してください。



4.下地の無い場所の固定は、同梱部品のアンカーを取り付けてください。

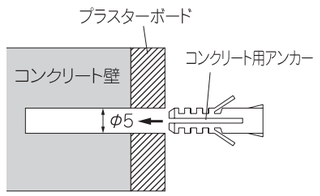
プラスターボード用アンカー

ドライバーNO.2で頭部をねじ込んでください。
コードレスドライバーは中トルク以下で、インパクトドライバーは締め付け程度に十分注意してください。また、胴縁、接着剤等の障害物は避けてください。

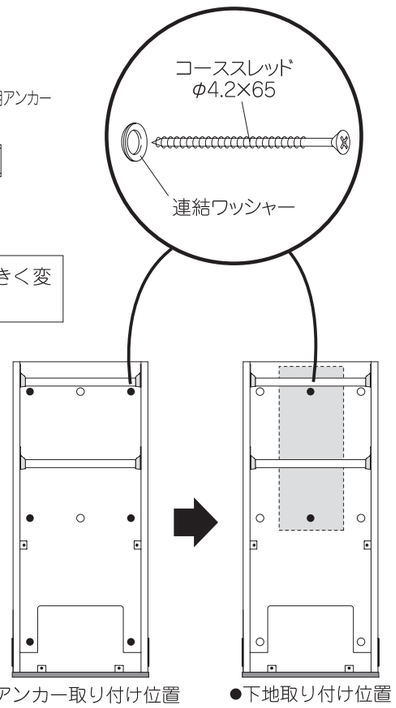


コンクリート用アンカー

コンクリートへφ5の穴を開け、アンカーを打ち込んでください。



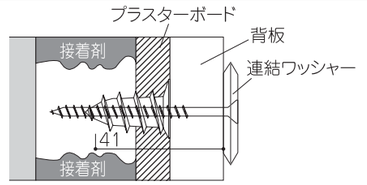
⚠危険 特にプラスターボード用アンカーは、タイプにより性能が大きく変わります。（数が不足した場合、弊社までお求めください）



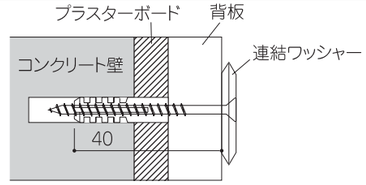
5.ユニットをマーク位置に設置し壁面へ固定してください。

- ●はじめにアンカーを取り付けた箇所（6ヶ所）へ固定してください。
- ●次に下地のある場所(2ヶ所以上）へ固定してください。

⚠警告 ユニット背板の中央上部▒の固定は、下地に2ヶ所以上確実に固定してください。
（床から580㎜以上、1,140㎜以内）



プラスターボード用アンカーへの取り付けは、コードレスドライバーは弱トルク以下で、インパクトドライバーは締め付け程度に十分注意してください。

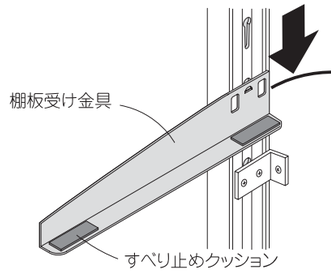


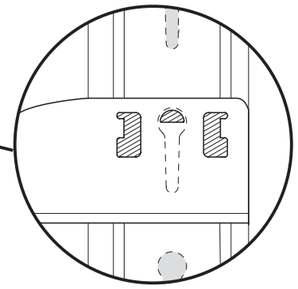
適合ねじ	
プラスター用	φ3.8～4.2
コンクリート用	φ3～4.2

ねじの長さはアンカーよりとび出す程度

6.棚板の取り付け（棚板タイプのみ）

①棚受け金具（左右各1）を左右の支柱の穴に差し込み、穴に入っている事を確認し、押し下げます。

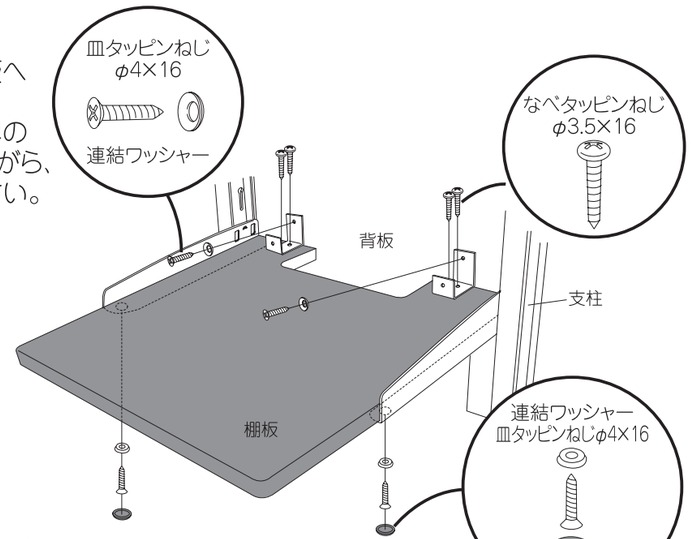




半円の窓と支柱の棚受け孔が重なるまで押し下げてください。

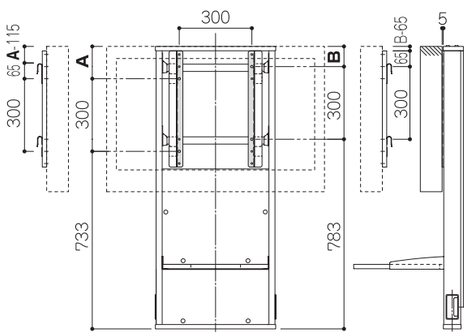
②棚板を受け金具に取り付け、背板へ固定します。
棚板を上から押さえ、棚受け金具のすべり止めクッションをつぶしながら、背板のガイド穴に固定してください。

③棚受け金具下面より、棚板を固定（2ヶ所）します。



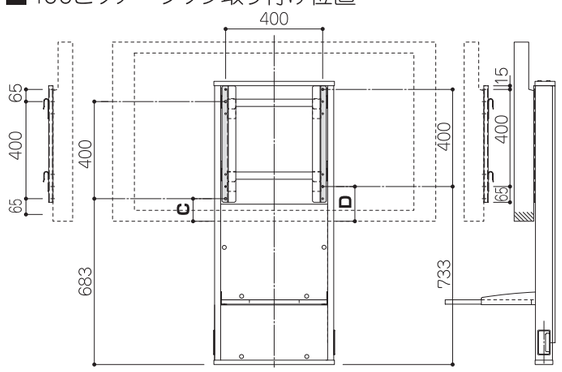
7.フックとテレビ位置関係を確認してください。

■300ピッチ　フック取り付け位置



※**A**寸法が**133**㎜以下、**B**寸法が**83**㎜以下の場合、テレビ裏面上の形状によりユニット内部が見える場合があります。

■400ピッチ　フック取り付け位置

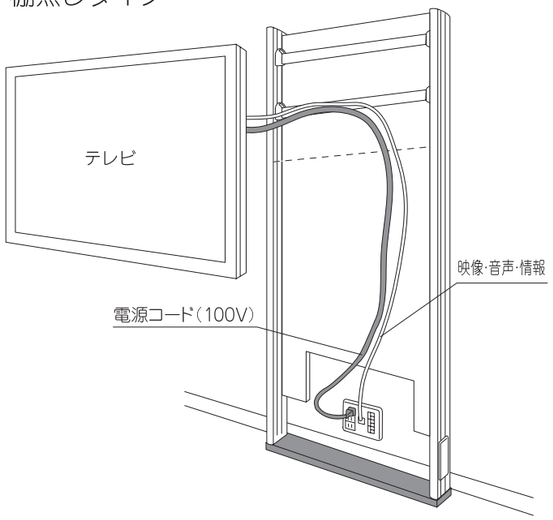


※**C**寸法が**200**㎜以上、**D**寸法が**250**㎜以上の場合、面材の交換が難しくなります。の場合、面材の交換が難しくなります。

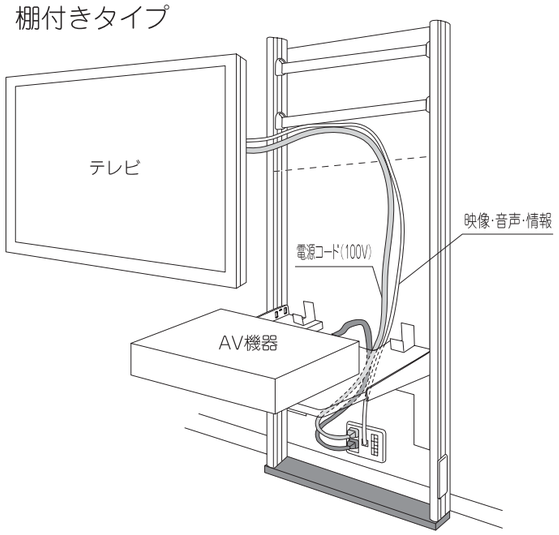
8.配線

■ユニット背面壁のコンセントを使用する場合AC変換器による電源線の配線はしないでください。
※面材の取り付けができない場合があります。

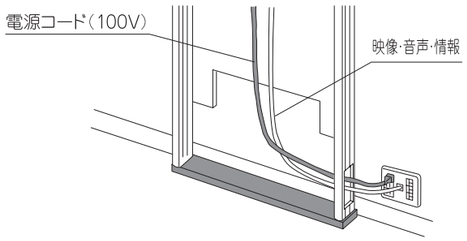
棚無しタイプ



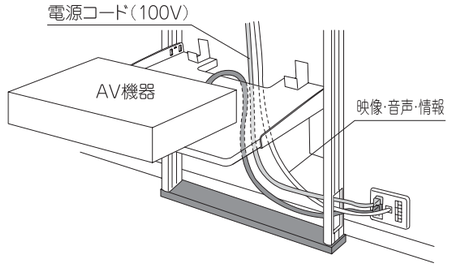
棚付きタイプ



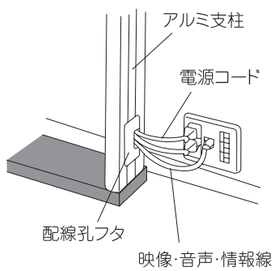
既設のコンセントを使用する場合



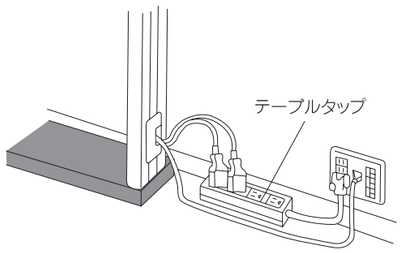
既設のコンセントを使用する場合



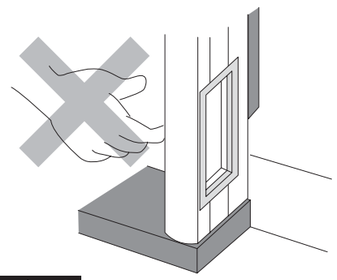
〈ユニット外での配線をする場合〉



〈テーブルタップを使用する場合〉



●テーブルタップの定格容量を
超えた配線をしないでください。
（たこ足配線などをしないでください。）



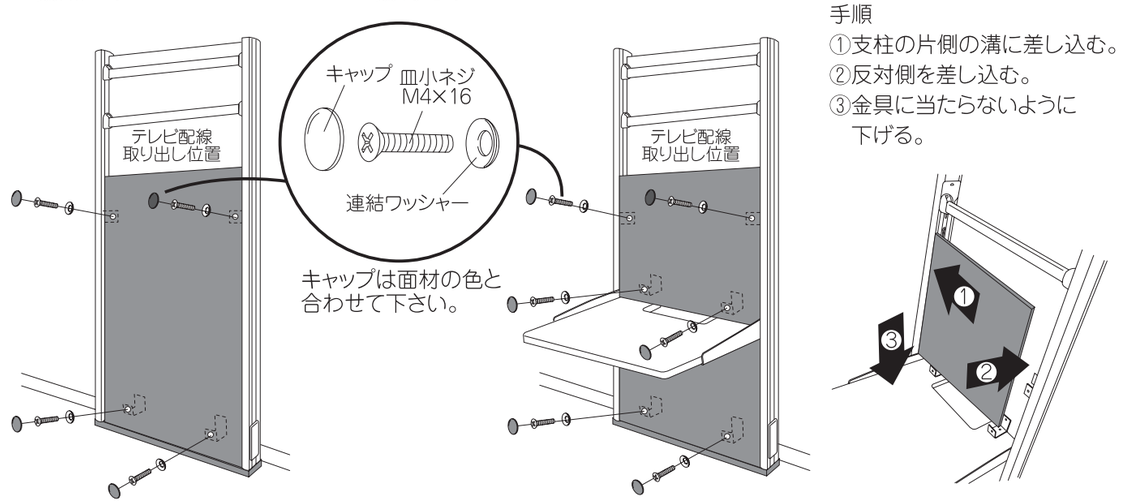
⚠危険

配線孔にコードを通す時に**支柱内側角**（配線穴）で手を切らないように注意してください。

重要 ●ユニット内でテーブルタップの接続をしないでください。
ユニット内で接続すると、TV電源プラグが不完全な接続となりほこり･ちりによってショートするおそれがあります。

9.面材の取り付け

棚無しタイプ　　棚付きタイプ



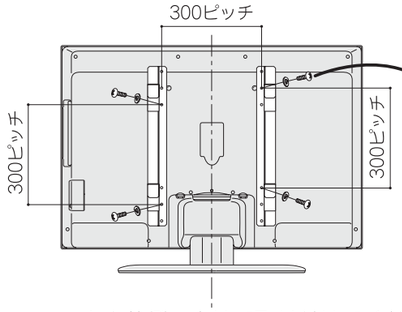
キャップは面材の色と
合わせて下さい。

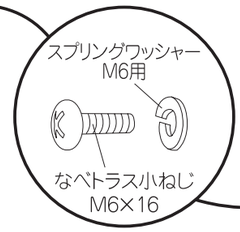
手順
①支柱の片側の溝に差し込む。
②反対側を差し込む。
③金具に当たらないように
下げる。

10.テレビの設置

テレビ取り付け用フックをテレビ裏面にあわせ、なべトラス小ねじM6×16と
スプリングワッシャーM6用（ゆるみ止め）で固定してください。

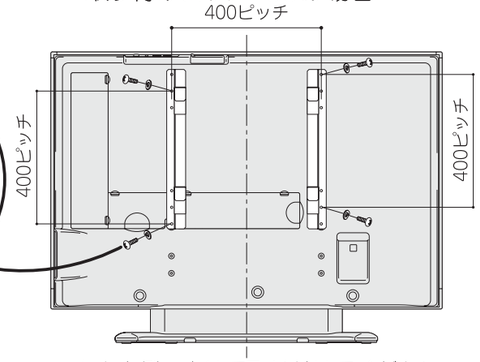
取り付けピッチ300の場合





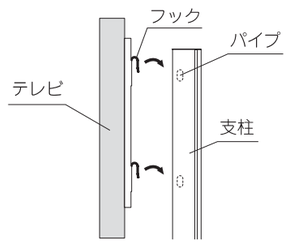
フックを外側へ向けて取り付けてください。

取り付けピッチ400の場合

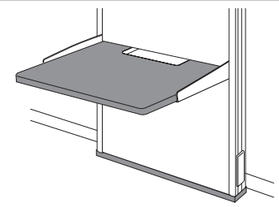


フックを内側へ向けて取り付けてください。

フックをパイプへ引っ掛けます。



⚠注意 棚付タイプの場合、テレビを棚に載せたり、よりかかったりしないで下さい。
棚が破損するおそれがあります。



11.天板の取り付け